

PBR LENDING

QUARTERLY REPORT

25-2Q
2025 4-6

P O R T O B E L L O R O A D

本レポート公開遅延のお詫び

このたび、9月中旬に一部のお客様の個人情報が流出する事案が発生いたしました。
お客様には多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

本件を受け、全ての業務体制を根本から見直すことを最優先とし、
一時的に公開を見合わせておりました。

今後は再発防止策を徹底のうえ、予定に基づき公開を再開してまいります。
次回の「25-3Q運用レポート」は、11月下旬の公開を予定しております。

引き続きご信頼をいただけますよう、全力で努めてまいります。
何とぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

PBR LENDING をご利用中の皆さまへ

今回に限り、VIP Ver.の一部を特別に一般公開いたします。
内容の詳細までご覧いただけるのは、今回のみとさせていただきます。

私たちがVIPのお客様にお届けしている特別な価値を、
より多くの方にも体験していただきたい——その想いからの公開です。

引き続き PBR LENDING をどうぞ宜しくお願いいたします。

PBR Highlights Dashboard | 25-2Q

運用レポートの情報をこの一枚に。
2025年 4月-6月の実績と動きの概況が、ひと目でわかります。

運用成績

+3.9%

前Q差: **+0.6%**

年率換算

+14.4%

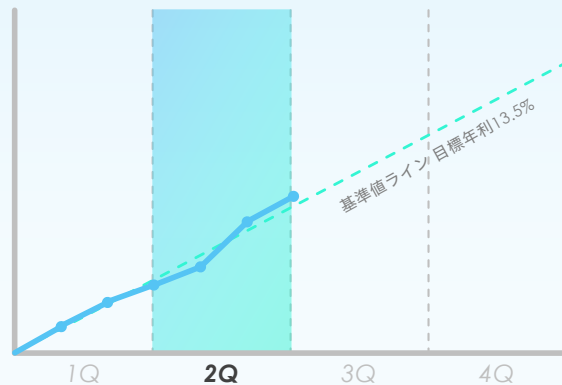
前Q差: **+1.4%**

基準との差

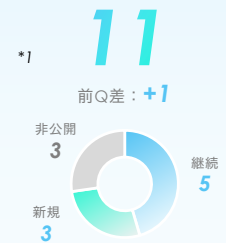
+0.7%

前Q差: **+1.2%**

パフォーマンス



運用パートナー

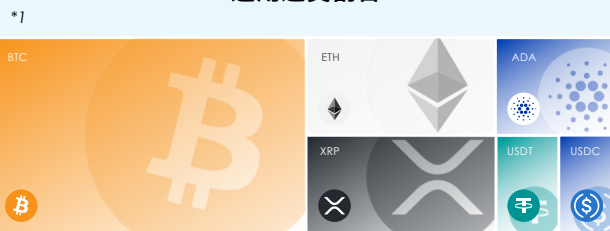


おかげさまで
2周年を
迎えました。



2025年6月

運用通貨割合



コーポレートサイトを
リニューアルしました。



2025年6月

返還申請から完了までの平均営業日数

2.8日

前Q差: **-1.4日**

目標: 3 営業日以内

規約: 7 営業日以内

遅延・未払件数

0件

前Q差: **0件**

事件・事故件数

0件

前Q差: **-1件**

\$110,000 突破。

5月21日、BTC史上最高値。

GENIUS法、可決。

暗号資産業界と伝統的金融市場の橋渡しが進む転換点に。

※1 運用先との契約のため、一部の情報は非公開としています。

PBR Highlights Dashboard | 解説

PBR Highlights Dashboard では、対象期間の運用実績やサービス指標などをまとめて表示しています。
はじめてご覧になる方は、どうぞこちらの解説と合わせてご覧ください。

● 投資運用情報

期間中の運用関連重要指標を
まとめて表示しています。

年・四半期

本資料の該当期間を表示しています。
25-2Q = 2025年 第2四半期 (Q = 四半期)

運用成績

3ヵ月合計の
運用成績（損益率）を
前Q差と共に
表示しています。

年率換算

運用成績を元に
年に換算した損益率を
前Q差と共に
表示しています。

基準との差

年率換算の損益率を
基準値と比べ
前Q差と共に
表示しています。
(基準値 = 目標年利13.5%)

PBR Highlights Dashboard | 25-2Q

運用レポートの情報をこの一枚に。
2025年 4月-6月の実績と動きの概況が、ひと目でわかります。

運用成績

+3.9%
前Q差: +0.6%

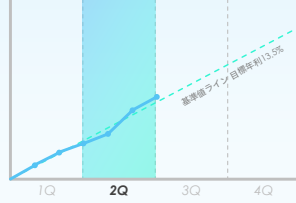
年率換算

+14.4%
前Q差: +1.4%

基準との差

+0.7%
前Q差: +1.2%

パフォーマンス



運用パートナー

11
前Q差: +1
非公開: 3
新規: 3
継続: 5

運用通貨割合



おかげさまで
2周年を
迎えました。
2025年4月

コーポレートサイトを
リニューアルしました。



返還申請から完了までの平均営業日数

2.8日
前Q差: -1.4日

目標: 3 営業日以内
現状: 7 営業日以内

遅延・未払件数

0件
前Q差: 0件

事件・事故件数

0件
前Q差: -1件

パフォーマンス

月別損益率グラフ
を基準値と比べ傾向を
表示しています。

運用パートナー

投資運用先の数を
前Q差と共に
表示しています。
(継続・新規・非公開)

運用通貨割合

運用している通貨割合を
概算割合として
面積で表示しています。
各運用先との契約内容が
異なるため概算としています。

● サービス指標

期間中のサービス重要指標を
まとめて掲載しています。

返還申請から完了までの 平均営業日数

申請から返還までの
平均営業日数を
前Q差と共に
表示しています。

事件・事故件数

事件や事故の発生件数を
前Q差と共に
表示しています。

遅延・未払件数

返還を規定日、未払など
の発生件数を
前Q差と共に
表示しています。

● 暗号資産NEWS

期間中の注目を浴びた
暗号資産NEWSを
紹介しています。



※1 運用先との契約のため、一部の情報は非公開としています。



世界の景気動向から金融・暗号資産のトレンドまで、四半期ごとの重要ポイントを凝縮。
期間中のマーケット全体を一枚で振り返れるレポートです。



世界経済・金融市場概況

2025年4～6月期の世界経済は、米国の大規模関税発動や中東情勢の緊迫化などで不確実性が高まりました。IMFは成長率を2%台前半へ下方修正し、世界貿易は鈍化傾向を示しています。一方、インフレ率はピークアウトし、主要国の中央銀行は政策を緩和または据え置きへと転じました。

米国では関税前後の輸入変動でGDPが年率+3%超と反発しましたが、実力以上との見方が強く、企業収益への関税負担懸念が残ります。FRBは政策金利を4.25～4.50%に据え置き、年後半の利下げ観測が高まりました。生成AIブームが投資を下支えしました。日本は4～6月期に年率+1.0%の成長に回復。輸出が底堅く推移した一方、米関税の影響を受け自動車各社は大幅値引きで数量確保を図りました。物価は2%台で推移し、政府は補助金を再開。日銀は政策金利を+0.5%で維持しましたが、利上げ観測も残ります。

金融市場では、株式が乱高下の末に上昇。S&P500は+5%、ナスダックは+13%と過去最高水準に迫りました。ハイテク株やAI関連銘柄が市場を牽引しました。金は安全資産需要から1オンス=3,500ドル超に急騰し、原油は中東リスクで乱高下ののち横ばいで終了しました。債券市場は米国・日本で利回り低下、欧州では上昇しました。

為替市場はドル安・ユーロ高が鮮明となり、ユーロ/ドルは1.15ドル近辺、ユーロ/円は169円近辺まで上昇。ドル/円は乱高下の末に144円で終了しました。

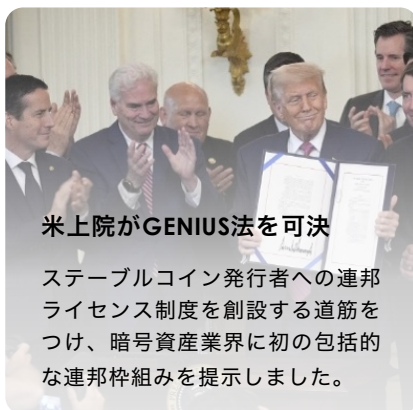
暗号資産市場は過去数年で最も好調な四半期となり、ビットコインは+30%上昇し一時11万ドルに到達。CoinbaseのS&P500採用やCircle社のIPOなど象徴的な出来事が市場を押し上げました。米国ではステーブルコイン規制法案が上院を通過し、規制の不透明感が後退しました。

暗号資産 注目ニュース TOP3



BTCが過去最高高値を更新

前月の暴落から持ち直し、貿易摩擦の緩和やムーディーズによる米国債格下げへのヘッジ需要が追い風となりました。



米上院がGENIUS法を可決

ステーブルコイン発行者への連邦ライセンス制度を創設する道筋をつけ、暗号資産業界に初の包括的な連邦枠組みを提示しました。



暗号資産企業の躍進

米取引所CoinbaseがS&P500入りで株価急騰、Circle社もNY証取に上場。暗号資産ビジネスが株式市場で評価された動きでした。

PBR LENDING が取り扱う6種類の暗号資産の動向と注目ニュースをまとめて掲載。
四半期の各暗号資産を手軽に振り返られる暗号資産レポートです。

BTC/JPY : 2024/4/1-2025/6/30



増減率
+26.5%

11万ドル接近、Q2は再上昇局面

4-6月はビットコインが相場の牽引役でした。5月に史上最高値を更新し、6月も10万ドル台を維持。ETF資金流入が地合いを支えました。

NEWS

5/21：BTC、\$109,760で史上高値更新。

6/10：暗号資産ファンド残高が過去最高で需給改善。

ETH/JPY : 2024/4/1-2025/6/30



増減率
+32.2%

現物ETF観測と資金流入で底堅く推移

ETHはBTC高値更新の追い風と、米国の現物ETF承認・資金流入の文脈で堅調。期末は2,400ドル台でクローズしました。

NEWS

5/21：BTCのATH更新で主要アルトも連れ高基調。

6月：米国で現物BTC/ETH ETF承認後、資金流入続く。

XRP/JPY : 2024/4/1-2025/6/30



増減率
+1.75%

SEC訴訟が前進、価格は2ドル台を維持

6月下旬にSEC訴訟で重要進展。市場全体の強気基調に支えられつつも、法務ニュースを織り込みながらの推移でした。

NEWS

6/26：SECとRippleの和解案を判事が退ける。

6/27：Ripple、SECへのクロス控訴取り下げへ。

ADA/JPY : 2024/4/1-2025/6/30



増減率
-15.9%

資金はBTC/ETH偏重、相対的に軟調

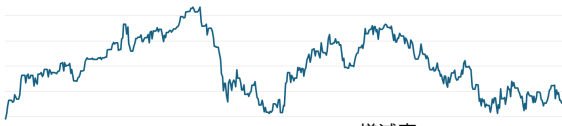
アルト群の中でADAは相対的に上値が重い展開。BTCのATHやETFマネーの偏りで資金循環が限定的でした。

NEWS

5/21：BTC ATHで市場全体に追い風も、ADAの上昇は限定。

6月：ETF資金はBTC/ETH中心でADAは弱含み。

USDT/JPY : 2024/4/1-2025/6/30



増減率
+3.6%

時価総額拡大、ペッグ維持

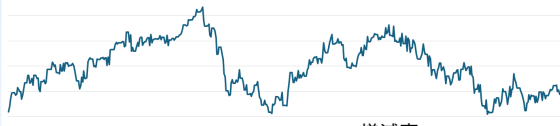
Q1監査で米国債保有が約1.2千億ドルに接近。6月は上院の安定通貨法案可決で市場拡大が期待されます。円換算は円高で目減りしました。

NEWS

5/1、Q1監査、公表資料で米国債保有の増加確認。

6/18、上院が安定通貨法案を前進、時価総額が最高。

USDC/JPY : 2024/4/1-2025/6/30



増減率
+3.6%

Circle上場、規制進展で追い風

発行体CircleがNYSEに上場し資本力を強化。上院の規制前進も追い風となりました。円換算は円高でわずかに低下しました。

NEWS

6/5、CircleがNYSE上場、公開価格31ドルで始動。

6/18、上院が安定通貨規制を前進、関連銘柄が上昇。

運用成績の増減率や年率換算値、通貨割合などを掲載。
四半期ごとのパフォーマンスを一目で把握し、運用の傾向をご報告するページです。

運用成績

+3.3% ▶ **+3.9%**
前Q差：+0.6%

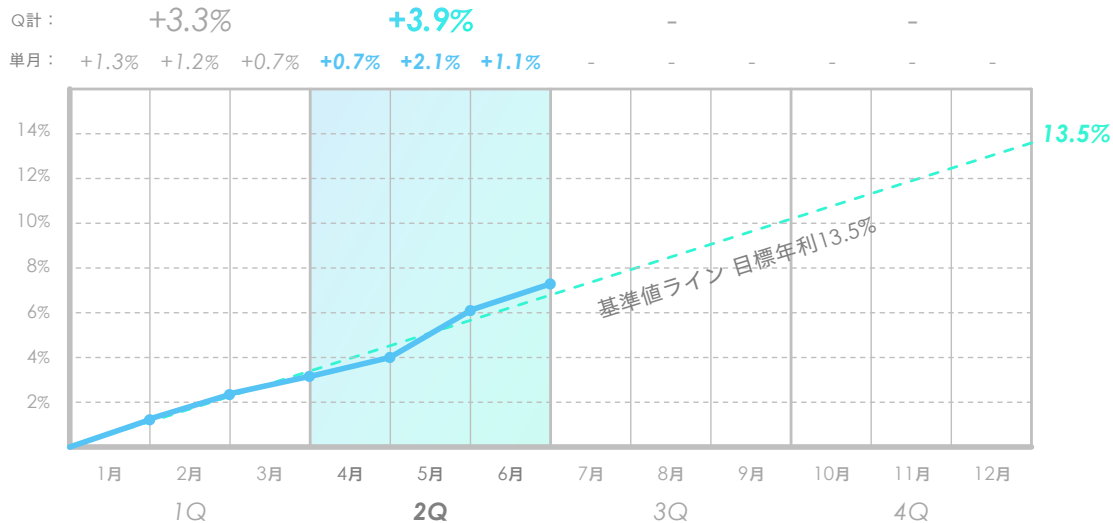
年率換算

+13.0% ▶ **+14.4%**
前Q差：+1.4%

基準との差

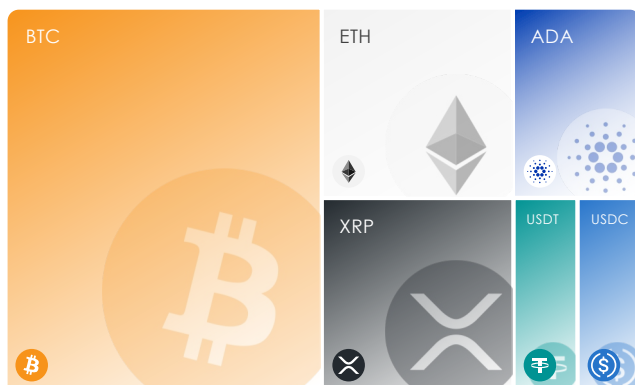
-0.5% ▶ **+0.7%**
前Q差：+1.2%

パフォーマンス



運用成績について

2Qの運用成績は+3.9%と前期比+0.6ポイントの上昇を示し、安定的な上昇トレンドを継続しました。年率換算では+14.4%となり、目標基準の13.5%を上回りました。特に5月の+2.1%の伸びが全体を牽引し、資産配分の有効性が確認されました。市場変動リスクを抑制しつつ、収益性と安定性の両立が実現され、パフォーマンス維持が期待されます。



運用通貨割合（概算割合）

2Qから新たにBTC以外の暗号資産運用を開始し、BTC比率はおおよそ半分ほどの運用比率となりました。

非公開：3
(協議中含)

継続：5

運用パートナー数

10 ▶ **11**
前Q差：+1

新規：3

停止：2

運用ポートフォリオ

2Qから11社構成（+1）となり分散運用が進みました。2社を停止、新たに3社の固定年利運用を開始しました。

投資・運用中のファンドの一覧です。
運用通貨や四半期の成績、年率換算値などをご報告するページです。

継続



香港 クリプトファンド A   
トレンド予測とテクニカル指標のトレード運用

2Q成績 年率換算 投資割合
+3.6% **+14.0%** ★★★



日本 クリプトファンド A 
テクニカル中心のアルゴリズムとロット管理運用システム

2Q成績 年率換算 投資割合
+1.3% **+5.3%** ★★



マレーシア クリプトファンド A    
4通貨を高頻度スワップアービトラージ

2Q成績 年率換算 投資割合
-1.0% **+1.4%** ★



日本 クリプト運用 B 
独自開発のアルゴリズムによるテクニカル中心の運用

2Q成績 年率換算 投資割合
+15.4% **+53.2%** ★★



香港 クリプトファンド A  
テクニカル指標による予測アルゴリズム

2Q成績 年率換算 投資割合
+4.1% **+13.8%** ★★

新規



コモロ クリプトファンド A 
トレンド予測とテクニカル指標のアルゴリズム

2Q成績 年利固定 投資割合
+2.0% **+12.0%** ★★



日本 クリプト建て運用 C 
独自のアルゴリズムで複数ポジションを個別利確

2Q成績 年利固定 投資割合
+2.0% **+12.0%** ★★



韓国 クリプトファンド A  
トレンド予測とテクニカル指標のアルゴリズム

2Q成績 年利固定 投資割合
+1.0% **+12.0%** ★★

非公開ファンド、および運用開始前・審査中のファンドを掲載しています。
『再投資』では、得られた運用益の一部を国内事業や短期案件に再投入し、円建て資産でもリターンの拡大を図っています。

非公開

VIPのみ公開しています

VIPのみ公開しています

3Q開始 / 審査中



3Q～運用開始

日本 クリプトファンド D 

50を超えるアルゴリズムが独立してトレード

2Q成績

+0.6%

年率換算

+7.2%

投資割合

-

VIP Only!!

『ファンドフォーカス』にてご紹介 [NEXT >>](#)

VIPのみ公開しています

再投資

VIPのみ公開しています

VIPのみ公開しています

データセンター開発 

最新の不動産投資はデータセンターへ

2Q成績

+3.3%

年率換算

+20.0%

投資割合

☆☆

VIP Only!!

『再投資』で上記3つをご紹介 [NEXT >>](#)

PBR LENDING と提携する、注目の運用パートナーに焦点を当てご紹介しています。
(この『ファンドフォーカス』特集は、不定期での掲載です。)



3Q～ 運用開始

日本 クリプトファンド D 

50を超えるアルゴリズムが独立してトレード

2Q成績

+0.6%

年率換算

+7.2%

投資割合

-

D社は、BTC専用の数百種類に及ぶ独自のトレードロボットを活用し、常に最適なポートフォリオを構築・運用する次世代型ファンドです。各ロボットは異なるアルゴリズムを搭載し、運用額に応じて最も高いパフォーマンスを発揮する組み合わせを選定後、緻密な検証を実施して運用します。運用額に対し適時ポートフォリオが組み直されるため、常にベストな環境での資産成長を目指します。

VIPのみ公開しています

運用益の一部を活用し、リスクの低い高収益事業や日本の有望事業へ再投資。
PBRが注目している投資先を紹介し、投資の広がりや投資の意図などをまとめたページです。

VIPのみ公開しています

VIPのみ公開しています

写真はイメージです。





データセンター開発

最新の不動産投資はデータセンターへ

2Q成績	年率換算	投資割合
+3.3%	+20.0%^{OVER}	☆☆

今後、日本各地で必要となってくるデータセンターの開発事業が活発化しております。豊富な電力と水が供給される広い面積の土地を探し、データセンターを建設する事業には莫大な費用がかかりますが、その分リターンも非常に大きな魅力的事業です。PBR社は、土地購入、既存施設の解体、センター建設と、各場面で必要な資金を貸し付けるなどして同事業を応援しております。

サービスの質向上に向けた取り組みをまとめた四半期レポート。
平均対応日数や改善状況などを通じて、サービスの動向をわかりやすく振り返ることができます。

返還申請から完了までの 平均営業日数

4.2日 ▶ **2.8日**
前Q差：-1.4日

～100万円 4.2日 ▶ **2.8日**
前Q差：-1.4日

～1,000万円 4.4日 ▶ **2.9日**
前Q差：-1.5日

～5,000万円 3.7日 ▶ **2.3日**
前Q差：-1.4日

5,000万円～ 2.5日 ▶ **3.5日**
前Q差：+1.0日

遅延・未払件数

0件
前回差：0件

事件・事故件数

0件
前回差：-1件

サービス改善

2Qは、返還完了までの平均営業日数が4.2日から2.8日に短縮され、前期比-1.4日と大幅に効率化しました。全体として安定した対応品質を維持し、遅延・未払・事故件数ゼロを継続。高い信頼性と透明性を確保しています。

返還までの日数改善は、社内体制の再構築により対応人員を増強し、処理のボトルネックを解消しました。返還までの業務フローを抜本的に見直し、不要な承認工程や重複作業を排除。社内規定も改定し、安全性を確保しつつ承認ルートをも最適化。加えて、定期的な準備金の確保による資金フローの安定化が、返還対応の即応性を支えています。

サポート改善

返還と同じく、顧客対応品質の抜本的な改善に取り組みました。経験豊富な人材の補強により、問い合わせ対応の専門性と即応力を強化。サポートフローを再設計し、初動対応のスピードと回答精度を高めたことで、「早くて助かった」「丁寧に説明してもらえた」といった好意的な声が増加し、「スピード・誠実さ・信頼感」を軸にしたCS体制が確立され、顧客満足度と再利用意欲の大幅な向上を実現しました。

お客様の声

● 他社からの乗り換え相談が増加

2Qでは他社レンディングサービスからPBR LENDINGへの乗り換えを検討・実施する問い合わせが明確に増加しました。この動きの背景には、PBR LENDINGが他社と比較してより高い利率を設定していることに加え、迅速で丁寧なサポート対応品質の高さ、利率アップや紹介特典といった各種キャンペーン施策も、乗り換えを後押しする要因となりました。

● プレミアムレンディング利用に関する質問が増加

「2周年記念還元祭」の年利アップに対し、通常のレンディングからプレミアムレンディングへの移行や、プレミアムレンディングの新規ご利用でのご質問が増加しました。

プレミアムレンディングは複利運用できます。

通常レンディングからプレミアムレンディングへの移行では、これまでの利息も含めて元本として運用できます。また、プレミアムレンディング満期後、改めてプレミアムレンディングを利用する場合は、同じく利息も含めて複利運用が可能です。

四半期の運用状況や取り組み成果を総合的に振り返るまとめです。
成長の要因や市場動向、顧客対応の成果などをまとめ、この四半期の歩みをご報告いたします。

PBR LENDING からのメッセージ

2025年4～6月期のPBR LENDINGは、前Qに続き安定成長を実現しながら、運用技術と組織品質の両面で新たな段階へと進化しました。2Q成績は +3.9%（前期比+0.6pt）、年率換算 +14.4%。目標ラインを上回る成果を上げ、変動の大きい市場環境下でも確かなリターンを積み重ねました。特に5月は+2.1%の伸びを記録し、AIトレードアルゴリズムと分散ポートフォリオの効果が明確に表れました。

暗号資産市場ではBTCが史上最高値を更新、ETHも+32.2%上昇する一方で、ADAが-15.9%と調整局面を迎えるなど、通貨間の格差が広がった四半期でした。その中でPBRは、BTC中心の運用から複数通貨構成へと舵を切り、リスクを分散しながら収益性を確保。2QよりXRP・ADA・USDT・USDCなどの運用を拡充し、BTC比率を半減させる構成転換を実行しました。結果、ボラティリティの高い局面でも安定したカーブを描く「守りながら増やす運用」が実現できました。

運用パートナーは11社体制（+1社）へ拡大し、新規参入した日本・コモロ・韓国の各ファンドが固定年利のため、安定して利益が獲得できています。特に「日本クリプト運用B」は+15.4%、年率換算+53.2%と突出し、独自アルゴリズムの精度を裏付けています。加えて、VIP限定セッションで紹介した「日本クリプトファンドD」および「ケイマンファンドA」は、50種以上のトレードロボットによる自動最適化運用を特徴とし、次世代モデルとして期待を寄せています。

サービス面でも改善が進みました。返還完了までの平均営業日数は 2.8日（前期比-1.4日）と大幅短縮。遅延・未払・事故件数はゼロを維持し、顧客対応品質は過去最高水準を達成しました。問い合わせ初動のスピードと正確さを磨くことで、「誠実で早い対応」が顧客満足度を押し上げています。これは単なる業務効率化ではなく、「信頼を資産化する」PBRの姿勢そのものです。

また、運用益の一部を社会価値へ再投資する取り組みも進展しました。防災用品製造・金採掘・データセンター開発など、実体経済に根ざした分散投資を通じ、持続的リターンと社会的インパクトの両立を目指しています。これらの事業は、単に資金を運用するのではなく、「未来の価値を創出する資産運用」としてPBRの理念を象徴しています。

総じて今期は、「安定」「拡張」「信頼」の三軸が整い、次の成長フェーズへの布石となる四半期でした。私たちは、これまでの成果に驕ることなく、より高い透明性と安全性を追求し、会員の皆さまにふさわしい運用環境を提供し続けてまいります。市場が揺れる時代だからこそ、PBRは「預けて良かった」と思える確かな運用でお応えします。

市場は常に動き続けます。次の四半期も、皆さまとともにより高みへと歩んでまいります。

PBR Highlights Dashboard | 25-2Q

運用レポートの情報をこの一紙に。
2025年4月4月の実績と動きの概況が、ひと目でわかります。



※1 運用先との契約のため、一部の情報は非公表としています。詳細は「PBR Highlights Dashboard 解説」をご覧ください。

PBR LENDING からのお知らせです。
 四半期ごとの運用レポート公開のタイミングで、大切な情報をいち早くお知らせをお届けします。

顧客情報漏洩事件に対するお詫びと今後の方針について

このたび、弊社では、マーケティング業務を委託し、仲間と思って共に事業を進めてきた者に裏切られ、不正に弊社の顧客情報を持ち出されるという事態が発生しました。その結果、一部のお客様に対し、他社のレンディング事業へ勧誘する郵便物が届くこととなり、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしました。繰り返しになりますが、改めて深くお詫び申し上げます。

不正競争行為に手を染めた両社の処遇につきましては、既に刑事告訴を行いましたので、捜査機関と司法の手に委ねたいと存じます。

社内体制につきましては、情報や暗号資産に関与できる者をさらに制限し、相互に監視しあって不正を防止できるよう、体制を見直すとともに、アクセスログの監視を開始しました。システム面につきましては、情報セキュリティの専門業者にコンサルティングを依頼し、今一度、問題点の有無を洗い直し、改善すべき点について改善を行ってまいります。今回は、情報が狙われましたが、暗号資産が狙われることがないよう、さらに高い秘匿性と安全性を確保してまいります。

今回の件を踏まえ、万全はないということを再認識し、現状に満足することなく、より高い安全性、より良いサービス、より透明で心安いいただける事業を目指して努力してまいります。まだまだ至らぬことが山積している状況ですが、引き続き弊社事業にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

PORTOBELLOROAD株式会社 CEO 奈良崎 匡平

新くなるマイページ、まもなく。

近日中にUIがアップデートされます。

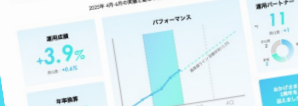


2周年記念還元祭、無事終了しました。

ご参加いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。
 安心を前提に、資産形成の実感をお届けできるよう努めてまいります。
 これからのPBR LENDINGとPBR社に、どうぞご期待ください。



PBR Highlights Dashboard | 25-2Q



次回は11月下旬（3Q：2025 7-9）

PBR Highlights Dashboard | 25-3Q

PBR社のCSR（企業の社会的責任）への取り組みを紹介しています。
『お客様の信頼と預ける力が、社会や未来の豊かさへ循環していく活動』をご報告するページです。

あなたの“預ける力”が、 100年後の日本を育てるように。

私たちの想い

私たちPORTOBELLO ROAD株式会社（PBR）は、「お金の流れを、社会の力に変える」ことを使命としています。暗号資産レンディングという最先端の金融サービスを通じて、ただ利益を追うのではなく、信頼・循環・共生を軸にした新しい価値づくりを進めています。

私たちが目指すのは、投資によって得られた利益が再び社会に還元され、人と人、地域と未来をつなぐ循環の経済。デジタルとリアルをつなぐ「新しい豊かさのかたち」を描いています。

“三方よし”の精神を現代へ

PBRが大切にしている考え方は、日本の商人文化に根づく「三方よし」——売り手よし、買い手よし、世間よし。この精神を、現代のデジタル経済に活かすことが私たちの挑戦です。

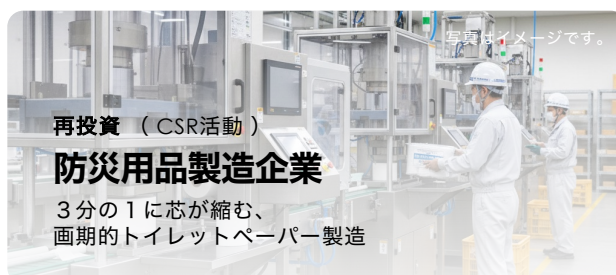
PBRでは、投資家の皆さまの利益を守ると同時に、その成果を社会に還元する“循環投資モデル”を実践。利益の一部を、地域や文化、持続可能な産業支援へとつなげ、暗号資産で得た力を「未来の資本」に変えることを目指しています。

「デジタル資本をリアル社会へ還元する新時代型CSR」
として、社会的インパクト投資に近いモデルを進めます。

これまでのCSR活動

「信頼を循環させる社会づくり」をテーマに、事業を通じた社会貢献を進めています。これまでの活動では、キャンペーンの当選商品を通じてお客様へ感謝を還元し、日本の歴史ある産業文化を支える商品や、国産無農薬野菜を使用した健康食品、地域の銘菓などをお届けしてきました。また、持続可能な社会基盤を支えるため、データセンターへの設備投資や、防災関連事業への参画も進めています。こうした取り組みを通じて、PBRは金融の枠を超え、「利益を社会に還元し、未来へつなぐ」企業として歩み続けています。

次回は、こちらの企業様に焦点を当てご紹介します。



END